

2025年度 第1回町田市立博物館運営委員会 議事録

1 開催日時：2025年8月14日（木）午後2時～4時

2 会場：町田市立博物館 小展示室（リモート併催）

3 配布資料：

資料1-1 2024・2025年度に開催した事業

資料1-2 2024・2025年度に開催した事業（写真）

資料2-1 2025年度中に開催予定の事業

資料2-2 2025年度中に開催予定の事業（写真）

資料3 2026年度の事業予定

4 出席者：【委員】

井上 暁子 委員長 今井 敦 副委員長 原田 一敏 委員

椿 敏幸 委員 宮原 裕美 委員

伊藤 嘉章 博物館館長

5 委員長・副委員長の選出

互選の結果、井上委員が委員長に決定した。委員の指名により今井敦氏が副委員長（委員長職務代理者）に決定した。

6 議題（報告）

（1）報告-1 2024・2025年度に開催した事業＜資料1-1、1-2＞

事務局 展示2件、体験講座7件、学校連携3件、ブース出展3件、作品貸出3件を行った。体験講座1件が中止となった。今年度はとくに学校連携とブース出展に力を入れている。

委員 学校連携やブース出展の実施により、博物館の引き出しはさらに増えていく。とくに小中学校との連携では、先生だけでなく、地域ボランティアと一緒に事業を行うことで、忙しい学校を助けつつ、博物館としても工芸の魅力を広く発信できる。双方にとってより良い形を今後も模索していく。

委員 資料1-1で口頭報告となっている「ガラスフェージングでキーホルダーをつくろう！」の参加人数は几人か。

事務局 参加人数は61名であった。

（2）報告-2 2025年度中に開催予定の事業＜資料2-1、2-2＞

事務局 展示2件、体験講座10件、学校連携4件、ブース出展5件、作品貸出2件を行う予定である。

委員 展示1で「(仮称)町田市立国際工芸美術館新収蔵作品展」とあり、(仮称)町田市立国際工芸美術館の名称を出している。展示2の「(仮)町田市立博物館・女子美術大学コラボ展」でも工芸美術館の名称を使う予定はあるか。

事務局 今後検討する。

委員 学校連携4「町田市立第三小学校 出張授業」で陶磁器に触るとあるが、2009年に東京国立博物館が特別展「染付―藍が彩るアジアの器」を開催した際、器に触ることができる機会を設けた。その際、赤絵と染付を用意したことで、釉上彩と釉下彩の違いが明白に理解できた。触る企画をするのであれば、陶器と磁器の違いなど、陶磁器に対する理解が深まるような教材を用意したら良いのでは。

事務局 実施時の参考にしたい。

委員 多くの企画があり、体験講座も素晴らしいと思う。子どもと大学生が中心であるように感じるが、高齢者向けの講座はないか

事務局 芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクトのキーワードが「子どもと体験」ということもあり、できるだけ子どもも参加できる内容にしているところはある。また、子どもセンターで開催する講座は、施設の設置目的上子どもが対象となる。他にもいくつかは子どもとその保護者を対象にした講座があるが、それ以外では対象年齢に下限はあるが、上限は設けていない。金継ぎ講座は高齢者の参加が多い。ブース出展でも高齢者に声かけするなど、積極的な参加を促すようにしている。

(3) 審議 2026年度の事業予定<資料3>

事務局 展示2件、体験講座15件、学校連携3件を行う予定である。なお体験講座の詳細については、今後講師の先生と詰めていき、何かしら新規のことができるよう検討する。

委員 展示1「実物展示(仮)夏休みガラス実験室―けずる編―」について、ガラス工芸の表現と科学という学際的なアプローチは興味深い。夏休みに開催ということなので、子どもの自由研究に発展するようなものになれば良いのでは。

事務局 実施時の参考にしたい。

委員 学校連携について検討中とのことであるが、2025年下半年期には学校連携が充実していると思う。高校との連携がないが、アプローチできないか。

事務局 高校に対しては、正直まだ手が回っていない状況である。中学については、美術部など部活動へのニーズがありそうという声がある。しかし、美術部はそもそも美術に興味がある学生が参加するので、美術と関係ない学生を引き込みたいと考えている博物館とのニーズが合わない。しかしながら、中高校生は美術館に足を運びにくい層なので、今後何らかのアプローチを検討していきたい。

委員長 2026年度事業予定について委員会に諮る。

異議なし。

(4) その他

事務局 (仮称) 町田市立国際工芸美術館の進捗状況について報告する。(仮称) 町田市立国際工芸美術館は2029年4月の開館を目指し、2025年冬に工事の入札を行い、2026年3月の議会で契約議案を上げる予定で準備を進めている。また、工芸美術館の向かいに建設を予定している(仮称) 公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟については、2027年夏のオープンを予定している。当初は工芸美術館、版画美術館、芹ヶ谷公園の維持管理運営について PFI を導入し、建設も行う予定だった。だが、建物の建設については市が行い、維持管理と運営については指定管理者が行うことに予定を変更した。学芸業務については、これまでどおり市の直営で行う予定である。博物館と版画美術館の運営委員会の統合時期については、内部で決まり次第報告する。

事務局 本日いただいたご意見をもとに、今後の博物館の運営を行っていく。オンラインのネットワーク環境については改善できるよう検討する。

委員長 これをもって閉会とする。